

## 「アメリカ哲学フォーラム第5回大会」参加申込みのお知らせ

皆さま

アメリカ哲学フォーラム第5回大会が、2018年6月23日(土)・24日(日)、神戸大学にて開催されます。

一般発表のほか、初日には二つの特別講演、檜垣立哉氏(大阪大学)による「ドゥルーズとパース——連続性と記号」と Mathias Girel (マティアス・ジレル: 仏/エコール・ノルマル) による “Reception and Development of Pragmatist Thought in France: Just a Beginning?” (フランスにおけるプラグマティスト思想の受容と展開——始まったばかり?) が行われます。マティアス・ジレル氏は、フランスにおけるプラグマティズムを先導する若手研究者の一人として注目されています。

また、二日目のシンポジウム: **Trans-Border Developments of Pragmatist Thought: China, Japan, America** (プラグマティズムの越境的展開 ——中国・日本・アメリカ——) では、中国からは陳亜軍氏、アメリカからはスティーヴン・フェスマイヤー氏を提題者としてお迎えして、「アメリカの哲学」という枠を越えた国際的展開を見せているプラグマティズムの諸相とその意義・可能性を検討します。奮ってご参加ください。

プログラムの詳細および参加申込みフォームは、「アメリカ哲学フォーラム」ホームページをご覧ください。 <http://www.lit.kobe-u.ac.jp/apforum/>

アメリカ哲学フォーラム事務局